

新規事業採択時評価結果（平成27年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：茅野 牧夫

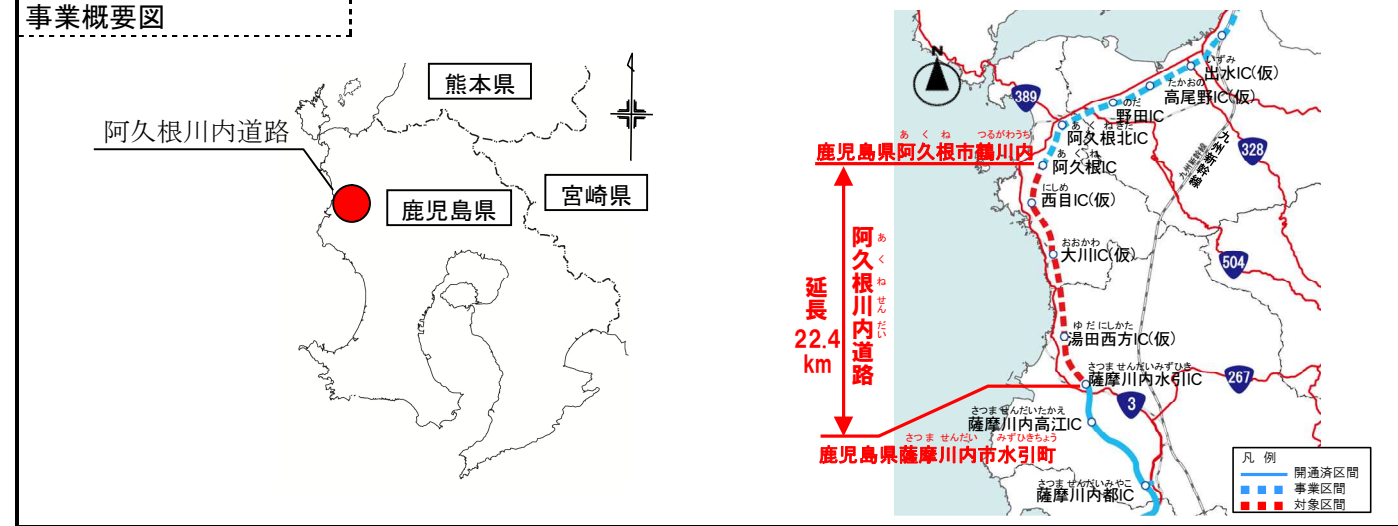
事業の概要

事業名	一般国道3号 (南九州西回り自動車道) 阿久根川内道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	自：鹿児島県阿久根市鶴川内 至：鹿児島県薩摩川内市水引町	延長	22.4 km		

**事業概要**  
一般国道3号南九州西回り自動車道は熊本県八代市を起点とし、水俣市、鹿児島県阿久根市、薩摩川内市などを經由して鹿児島市に至る延長約140kmの自動車専用道路である。  
そのうち、阿久根～薩摩川内水引間約22kmは、南九州西回り自動車道唯一の未事業化区間となっている。

**事業の目的、必要性**  
本道路は災害時にも機能する信頼性の高い高速ネットワークの形成、医療アクセス負担を軽減し地域の安全・安心の確保、周遊性向上により交流人口を拡大し観光資源活用により経済成長に寄与するものである。

全体事業費	約1,050億円	計画交通量	約19,400台/日
-------	----------	-------	------------



**関係する地方公共団体等の意見**  
【鹿児島県知事】  
南九州西回り自動車道沿線地域は、世界的にも貴重な出水のツル渡来地や優れた自然の風景を有する甌島・阿久根大島、日本三大急潮の黒之瀬戸等のポテンシャルが高い観光資源を多数有する地域です。  
北薩地域における高速道路ネットワークの一部を構成する南九州西回り自動車道の整備により、九州縦貫自動車道とネットワークが形成され、観光周遊圏の拡大による交流人口の増大が期待される所です。  
当県としては南九州西回り自動車道が、交流人口の増大による地方創生を実現する重要な社会インフラであるものと強く認識している所であり、阿久根から薩摩川内間の事業化のあかつきには円滑に事業促進が図れるよう最大限努力してまいりますので、是非とも平成27年度の新規事業として予算化していただきますようお願いいたします。

**学識経験者等の第三者委員会の意見**  
・新規事業化については妥当である。

**事業採択の前提条件**  
・費用対便益：便益が費用を上回っている  
・手続きの完了：都市計画決定・環境影響評価手続き完了（H26.7.29）

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.6	総費用：813億円 (事業費：750億円 維持管理費：63億円)	総便益：1,268億円 (走行時間短縮便益：1,013億円 走行経費減少便益：142億円 交通事故減少便益：112億円)	基準年：平成26年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.4 (交通量 -10%)	B/C=1.8 (交通量 +10%)	
		事業費変動	B/C=1.4 (事業費変動 +10%)	B/C=1.7 (事業費変動 -10%)	
		事業期間変動	B/C=1.4 (事業期間変動 +20%)	B/C=1.7 (事業期間変動 -20%)	

事業の影響	評価項目	評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	—
事故対策		—	・注目すべき影響はない。
歩行空間		—	・注目すべき影響はない。
社会全体への影響	住民生活	◎	・周産期医療施設へのアクセス時間の短縮、第3次救急医療施設60分圏の拡大により地域の安全・安心を確保 [阿久根市から周産期医療施設（薩摩川内市）へのアクセス時間] 現況 41分 → 整備後 28分（13分短縮） [阿久根市の第3次救急医療施設60分圏内人口] 整備前 約1割（約2,500人） → 整備後 約7割（約16,900人）
	地域経済	—	・注目すべき影響はない
	災害	◎	・災害時にも避難路や緊急輸送道路として機能する信頼性の高い高速ネットワークの形成 ・九州縦貫自動車道の通行止時の代替機能を確保 [九州縦貫自動車道通行止時の移動時間（八代～鹿児島間）] 現況 188分 → 整備後 98分（90分短縮）
	環境	—	・注目すべき影響はない
	地域社会	○	・九州縦貫自動車道と周遊ネットワークが形成され、交流人口の増大が期待 [高速道路沿線の観光周遊ルート移動時間] 現況 260分 → 整備後 180分（80分短縮）
事業実施環境	○	・都市計画決定、環境影響評価手続き完了（H26.7.29） ・鹿児島県知事より、阿久根～川内間の一括での平成27年度新規事業化を要望	

採択の理由

費用便益比が1.6と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。  
また、阿久根川内道路の開通により災害時にも機能する信頼性の高い高速ネットワークの形成、医療アクセス負担を軽減し地域の安全・安心を確保、周遊性向上により交流人口を拡大し地域の観光資源を最大限活用することで経済成長に貢献するなど事業の必要性・効果は高いと判断できる。  
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

1. 事業の概要

事業名	一般国道3号 <small>みなみきゅうしゅうにしわら じどうしゃどう あくねせんたい</small> (南九州西回り自動車道)阿久根川内道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	自：鹿児島県阿久根市鶴川内 至：鹿児島県薩摩川内市水引町		延長	22.4 km		
事業概要 目的	一般国道3号南九州西回り自動車道は熊本県八代市を起点とし、水俣市、鹿児島県阿久根市、薩摩川内市などを経由して鹿児島市に至る延長約140kmの自動車専用道路である。 そのうち、阿久根～薩摩川内水引間約22km(鹿児島県阿久根市～鹿児島県薩摩川内市)は、南九州西回り自動車道唯一の未事業化区間となっており、災害時にも機能する信頼性の高い高速ネットワークの形成、医療アクセス負担を軽減し地域の安全・安心の確保、周遊性向上により交流人口を拡大し観光資源活用により経済成長に寄与するものである。					
事業費	約1,050億円	3便益B/C	1.6			

2. 必要性の評価

(1) 課題の整理

評価項目	当該事業地域の課題・上位計画等	
防災・災害時の救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道3号は、大雨に伴う法面崩壊や路面冠水により通行規制が再三発生。</li> <li>・九州縦貫自動車道の通行止時には、国道3号に容量を超える迂回交通が流入し、著しい混雑が発生。</li> <li>・国道3号は大規模震災時には津波浸水の恐れがあり、緊急輸送道路としての信頼性に課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※九州圏広域地方計画(H21.8)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模災害時においても、救援・救護、災害復旧等に的確に対応できるよう、災害時における確実な避難・緊急輸送等を図るための迂回ルート等の余裕性(リダンダンシー)に優れた交通網の整備を推進する。</li> </ul> </li> <li>※鹿児島県「かごしま将来ビジョン」(H20.3)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川災害、土砂災害、高潮被害、農地・農業集落等における災害の未然防止対策、道路や港湾などの緊急輸送ネットワークを形成</li> </ul> </li> </ul>
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出水保健医療圏(出水市・阿久根市・長島町)では、妊産婦の救急対応が困難。緊急時には薩摩川内市等に搬送されるが、周産期死亡率は全国の約2倍。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※九州圏広域地方計画(H21.8)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時・緊急時の救急医療等を受けられる生活環境を構築するため、基幹都市圏等に集積した高次医療サービスの広域的な享受を可能とする搬送手段、交通基盤等を形成していく。特に、受入体制の強化が求められている妊婦・小児への高度救急医療に対応するための取組を進めていく。</li> </ul> </li> <li>※鹿児島県「かごしま将来ビジョン」(H20.3)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の広域応援体制や医療救護体制の整備を推進</li> </ul> </li> </ul>
地域社会 地域経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速道路が接続した薩摩川内市で観光客が増加する一方、未接続の出水市・阿久根市ではほぼ横ばい。</li> <li>・沿線の魅力ある観光資源を活かしきれていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※九州圏広域地方計画(H21.8)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・多自然居住地域間を中心に交流・連携を繰り広げる生活文化交流軸として、熊本、宮崎、鹿児島県の3県にまたがる南九州地域において、重要な食料供給地域としての高付加価値農業地域の形成を図る。</li> </ul> </li> <li>※鹿児島県「かごしま将来ビジョン」(H20.3)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線道路網が整備されることにより、物流の効率化や利便性が向上し、観光客などの交流人口が増え、地域が活性化</li> </ul> </li> </ul>
その他		

(2) 事業の必要性

<p>災害時にも機能する信頼性の高い高速ネットワークの形成、医療アクセス負担を軽減し地域の安全・安心の確保、周遊性向上により交流人口を拡大し観光資源を最大限活用することで経済成長に寄与するものである。</p>
--

3. 有効性の評価

(1) ネットワーク上のリンクとしての評価

①主要都市・拠点間の防災機能の向上				
区間	リンクの評価		効果	評価
	現状(整備前)	(目標)整備後		
出水市 (地域の生活の中心となる都市)	薩摩川内市 (地域の生活の中心となる都市) (重要港湾) (周産期救急医療) (新幹線駅)	D → (B) B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現道は津波浸水想定箇所等を通り過ぎており寸断される可能性があるため、災害危険性が高い。また、近傍の迂回路も脆弱である(Dランク)。</li> <li>・当該事業のルートは津波浸水想定箇所等を避けて計画しており災害危険性のないBランクに改善される。</li> </ul>	◎
②ネットワーク全体の防災機能の向上				
リンクの評価			効果	評価
弱点度(整備前)	弱点度(整備後)	改善度		
1.1	0.8	1.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該リンクの整備により、阿久根市～薩摩川内市間の災害時の迂回が解消することにより、ネットワーク全体の防災機能が向上。</li> </ul>	○

(2) 当該事業としての評価

評価項目	事業による効果	評価
防災・災害時の救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時にも避難路や緊急輸送道路として機能する信頼性の高い高速ネットワークの形成</li> <li>・九州縦貫自動車道の通行止時の代替機能を確保 [九州縦貫自動車道通行止時の移動時間(八代～鹿児島間)] 現況 188分 → 整備後 98分(90分短縮)</li> </ul>	◎
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周産期医療施設へのアクセス時間の短縮、第3次救急医療施設60分圏域の拡大による地域の安全・安心を確保 [阿久根市から周産期医療施設(薩摩川内市)へのアクセス時間] 現況 41分 → 整備後 28分(13分短縮) [阿久根市の第3次救急医療施設60分圏内人口] 整備前 約1割(約2,500人) → 整備後 約7割(約16,900人)</li> </ul>	◎
地域社会 地域経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州縦貫自動車道と周遊ネットワークが形成され、交流人口の増大が期待 [高速道路沿線の観光周遊ルート移動時間] 現況 260分 → 整備後 180分(80分短縮)</li> </ul>	○
その他		

(3) 事業の有効性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価がDランク→Bランクに改善するとともに、不通リンクの解消によりネットワーク全体の防災機能が強化される。</li> <li>・また、本事業において、災害時にも機能する信頼性の高い高速ネットワークが形成されるとともに、医療アクセス負担の軽減、周遊性の向上による交流人口の拡大など有効性の高い事業と評価する。</li> </ul>
---

#### 4. 事業実施環境・第三者意見

事業実施環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画決定・環境影響評価手続き完了（H26. 7. 29）</li> <li>・鹿児島県知事より国土交通大臣に、阿久根～川内間の一括での平成27年度新規事業化について要望</li> </ul>
鹿児島県	<p>南九州西回り自動車道沿線地域は、世界的にも貴重な出水のツル渡来地や優れた自然の風景を有する甕島・阿久根大島、日本三大急潮の黒之瀬戸等のポテンシャルが高い観光資源を多数有する地域です。</p> <p>北薩地域における高速道路ネットワークの一部を構成する南九州西回り自動車道の整備により、九州縦貫自動車道とネットワークが形成され、観光周遊圏の拡大による交流人口の増大が期待される所です。</p> <p>当県としては南九州西回り自動車道が、交流人口の増大による地方創生を実現する重要な社会インフラであるものと強く認識している所であり、阿久根から薩摩川内間の事業化のあかつきには円滑に事業促進が図れるよう最大限努力してまいりますので、是非とも平成27年度の新規事業として予算化していただきますようお願いいたします。</p>
社会資本整備審議会 道路分科会 事業評価部会	<p>「新規事業化については妥当である。」との意見を頂いた。</p>
社会資本整備審議会 九州地方小委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新規事業化については妥当である。」との意見を頂いた。</li> <li>・津波浸水リスクが存在する当該地域において、災害時の緊急輸送道路として有効。</li> <li>・観光・交流による経済波及効果が大きい路線と思われる。</li> <li>・当該道路の整備により現道交通量の減少が見込まれるため、整備時の地域づくりや道路の使い方を考えておく必要がある。</li> <li>・地域活力維持のため、「道の駅」のような集客施設等も合わせて考えるべき。</li> </ul>

#### 5. 対応方針

<p>・当該事業により、災害時にも機能する信頼性の高い高速ネットワークの形成、医療アクセス負担を軽減し地域の安全・安心の確保、周遊性向上により交流人口を拡大し観光資源を最大限活用することで経済成長に寄与する効果が認められることから、防災機能の評価結果も踏まえ、当該事業の必要性・有効性は高いと判断できる。</p> <p>以上より、本事業を平成27年度予算要求の新規事業箇所として要求する。</p>
--